



発行所 島根県隊友会  
 編集協力 出雲駐屯地  
 広報室  
 印刷所 (有)福岡秀文堂



## 開庁62周年記念行事 市中パレード

市中パレード  
 大いに賑わう

出雲駐屯地(司令 安河内2佐)は「出雲駐屯地開庁62周年記念行事・市中パレード」を10月17日、出雲市今市町のくまびき中央通りにおいて、人員約150名、車両約50両、航空機2機の陣容をもって行った。

当日は爽やかな秋空の下、来賓に衆議院議員竹下亘氏代理曾田昇氏をはじめ、部内外から多数の招待者やOBの方々を迎え盛大に記念日を祝った。

行事に先立ち式典会場において、第13音楽隊(隊長 今井1尉 海田市)により野外演奏が行われ、中でも出雲市出身の竹内まりやさんが、作詞作曲した「愛しきわが出雲」の演奏に合せて同音楽隊の光永3曹が美声を披露し、観衆を大いに魅了した。

その後、観閲部隊が威風堂々の徒步行進で式典会場に入場し、式典では、駐屯地司令が式辞の中で「自衛隊に対する県民・市民の期待は益々高まっており、我々は警察・消防・海上保安庁などの実力組織と力を合わせ、関係自治体との連携を更に強化

し、如何なる事態が発生しても、迅速・的確に対応し、ベストの結果を出すことが要求されている。

我々は、これまで同様、即応態勢を維持するとともに、ひとたび事が起これば、国家・国民のために、自らの危険を顧みず命をかけて任務を遂行するという、崇高な使命感を基に、日々妥協のない訓練に励み、その実力を養っていくことが非常に重要である。」と述べた。

続いて、市中パレードでは島根県旗・出雲市旗が先頭を行進、観閲部隊指揮官の第304施設隊長渡邊2佐の観閲部隊指揮官車から第132地区警務隊(隊長 家入2佐)グループと車両行進が続いた。

その後、駐屯地所在部隊が4個グループに分かれ行進を行い、約3500人の観衆の大きな歓声に迎えられ、ともに、カメラのシャッター音が鳴り響いた。続く第5グループには支援部隊である第8普通科連隊(米子)、第13特科隊、第13高射特科中隊(日本原)が堂々の行進を披露し、車両部隊の最後として災害派遣器材車両が続いた。

最後に第13飛行隊(防府)のOH-16、UH-1が式典会場上空を観閲飛行し、パレードを締めくくった。

パレード終了後は出雲市役所南側公園付近において、装備品及び災害派遣活動写真パネルを展示したが、ここでも多くの家族連れ等で賑わった。

記念行事全般を通し、陸上自衛隊出雲駐屯地の真摯な姿を広報し、地域防衛基盤の拡充を図ることができた。

### 感謝状贈呈

記念日行事に先立ち平成27年駐屯地感謝状贈呈式が駐屯地司令室において実施された。

(尚、当日都合によりご出席できなかった方には、後日、駐屯地司令より贈呈)

受賞者は次の通り

☆一般功労  
 栗原 真由美氏  
 深田 倍行氏

☆援護功労

山陰パナソニック(株)  
 中電環境テクノス株式会社



▲司令と写真におさまる受賞者  
 (左:栗原氏 右:山陰パナソニック渡辺氏)



▲中電環境テクノス株式会社  
 (飯塚 亮一氏)

# 記念行事フオトスナップ集

守りたい人がいる

地域の皆様と共に歩む心 出雲 主 屯 地

守りたい人がいる



▲自衛隊応援横断幕を掲げてくれた  
出雲地区防衛協会の方々



▲美声を披露した音楽隊 光永 3 曹



▲早朝より会場準備する隊員



▲観閲部隊指揮官 施設隊長 渡邊 2 佐



▲式辞を述べる駐屯地司令



▲司会・進行の偵察隊 竹下 1 曹、基通隊 林士長



▲第132地区警務隊の行進



▲行進する島根県旗・出雲市旗



▲入場行進する隊員



▲行進する施設隊トレーラ



▲偵察直接支援小隊の行進



▲第1直接支援隊の行進



▲装備品を説明する隊員



▲災害派遣器材積載車の行進



▲偵察隊の行進



▲支援部隊による行進 (右より第8普通科連隊・第13特科隊・第13高射特科中隊・第13飛行隊) ▲

### 出雲全日本大学選抜 駅伝競走支援

今年も出雲路に秋本番を告げる「第27回出雲全日本大学選抜駅伝競走」通称「出雲駅伝」が体育の日の10月12日開催され、出雲駐屯地は通信支援を実施した。

大学3大駅伝の一つとして、すつかり定着し、駅伝シーズンの幕開けとなる同大会支援も恒例となり今年で27回目となった。

支援隊は広報室長（玉木1尉）以下19名で編成され、各中継所手前500mから1kmに携帯無線機を担いだ隊員を配置し、力走する選手、チーム名を中継所及び大会本部に報告し、同大会の円滑な運営に大きく貢献した。

当日は気温19℃、曇りで少し肌寒いコンディションの中、出雲大社正面大鳥居前から風光明媚な出雲路をゴールの出雲ドームまでの6区間41kmのコースで前回優勝した駒澤大学をはじめ、21チームが参加し健脚を競った。

レースは序盤、駒澤大学がトップを走り、3区で今年度「3冠」を狙う、青山学院大学が逆転し、そのままトップを守りきり大会2度目の優勝を果たした。

選手たちは休む間もなく全日本大学駅伝及び新年早々の箱根駅伝を迎える。

また、大会

を支援した隊

員も大学生ア

スリートたち

の健闘を間近

で見ることにより、それぞ



▲通過選手を本部に報告する支援隊員

### 平成27年度

### 原子力防災訓練

駐屯地は10月23日平成27年度島根県原子力防災訓練に参加した。

訓練に参加したのは駐屯地警備幹部（日野2尉）以下9名で、訓練内容は県災害対策本部に連絡員を派遣し、情報収集及び関係機関との連絡調整を実施したほか、輸送支援として松江市鹿島町から要援護者及び介助者を救急車へ搭乗、ヘリポートへ後送、航空機への搭載訓練、空輸を実施した。本訓練を通して防災関係機関相互の連携による防災対策の確立に寄与するとともに地域住民の方の安全・安心確保の一助とすることができた。



▶多くの報道陣が見つめる中、訓練に参加した隊員（患者輸送）

### 祝 定年退官

業務隊

2等陸尉

嘉本

覚

帰住先…出雲市上島町



永年の勤務  
お疲れ様でした。

### 嘉本2尉経歴

- 昭和56年 3月 第8普通科連隊（米子）  
前期・後期教育入隊
- 9月 第8普通科連隊（米子）
- 平成3年 8月 第7師団司令部付隊（東千歳）
- 平成8年 8月 第8普通科連隊（米子）
- 平成22年 3月 出雲駐屯地業務隊（出雲）

この間、小銃手、無反動砲弾薬手、無反動砲分隊長、文書陸曹、郵政陸曹、対戦車分隊長、対戦車小隊陸曹、運用訓練准尉、先任上級曹長、小銃小隊長、糧食班長、補給班長の職務を歴任されました。



# 隊友会活動

## 中国ブロック研修会

副会長 錦織新一

島根県隊友会（会長 持田佳郎）が担当幹事となり、平成27年度中国ブロック研修会を9月26日～27日「出雲ロイヤルホテル」で開催。本部から清藤常務執行役、中国地区担当寺尾執行役、来賓に堀征巳島根地本長を迎え、中国5県隊友会長と代表者、島根各支部等から多数の参加を得た。

会議に先がけ国歌斉唱、隊友会歌「あこの血潮」斉唱、物故者への黙祷。持田会長、寺尾執行役、清藤常務執行役の挨拶、堀島根地本長の祝辞に続き、持田会長を座長に選出後、研修に入った。

研修課題「会勢の拡大」「公益目的事業の定着・充実施策」について、順次発表。各県各々、特性を踏まえた取り組みについて真剣に発表され、質疑・応答等終始熱心に討議することができた。同時に本部への要望事項等を踏まえ、持田会長が「まとめ」を発表。寺尾執行役、清藤常務執行役の所見を頂くとともに、活性化を図るべく、各県とも地道な継続を確約した。また、安河内出雲駐屯地司令の防衛講話に移り、演題「防衛白書二〇一五概要

について」と題しプロジェクトを用いて解説され、今後の防衛指針等の重要性をより一層理解することができた。

引き続き会場を異にしての意見交換会では、県知事代理、県議、市長代理、市議、第13旅団長、関係諸団团长、各部隊長等来賓多数の参加をいただき来賓祝辞、祝電披露、県父兄会会長の乾杯の発声で祝宴に入り、終始和やかな雰囲気の中、胸襟を開いての懇談で各界と隊友会との絆を深めることができ、県自衛隊退職者雇用協議会会長の力強い万歳三唱をもって閉会した。

なお、翌日は松江市「島根原発原子力館」を視察研修、大いに見聞を広め、次回を約し13時解散した。

## 「総合防災訓練」に参加

防災担当 曾田憲雄

島根県隊友会（会長 持田佳郎）は9月1日、出雲市総合防災訓練に会長以下18名が参加した。

訓練は市をはじめ、国、県、自衛隊、警察、消防等そして、出雲市との「緊急事態における隊友会の協力に関する協定」に基づき、市内各ボランティア諸団体と協力して、炊飯、豚汁等400食の炊き出しを実施した。

当日は、朝から生憎の雨、豪雨による土砂災害想定と地震による災害想定との状況に即した訓練となり、各団体との連携が深まる契機とともに活動能力の向上を図ることができた。

## 「島根原発 原子力館」視察

隊友会副会長 杉原忠嗣

中国ブロック研修会の2日目（9月27日）は、松江市の中国電力島根原子力発電所島根原子力館を視察研修した。

島根県持田会長以下23名は、事前提出の名簿に基づく厳重な本人確認チェック（2回）を受けた後、重要棟に入棟し、館長から原子力発電所施設・整備状況と安全対策等について細部にわたり説明を受けた。

特に構内の施設は、原発事故を教訓にした安全対策が随所に見られた。また、万が一の災害に備え、整備状況等は徹底されており、各県参加者は、異口同音に安全面に対する諸施策を痛感した次第。本視察により、我々が参加している各種防災訓練等の危機管理の在り方と対応策を考慮する上で大いに参考となった。

## グラウンド・ゴルフ 交歓大会

事務局長 築森寛喜

島根県隊友会は平成27年10月7日13時から出雲市の平成スポーツ公園グラウンド・ゴルフ場において「2015島根県隊友会G・G交歓大会」を開催した。晴天の下、久方の面々に挨拶が弾む中、時間厳守で会長以下19名（女性5名含む）が参加。

開会式での会長挨拶、築森ブレィ委員長による統制事項等説明の後、公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会の現行ルールを準用し、特に、マナー及びエチケットを重視し、打順はローテーション方式で、各組長統制のもと、8ホール×3ラウンドのトータル打数でプレーした。

中には、久しぶりにクラブを持つ会員が、距離感とボールの行方に苦慮されるも、思わぬホールインワンに笑顔あり。ポストの脚に当たりホールインワンを逃がす人。ホールポスト近辺を往復する人ありで、一喜一憂し、明るく・元気に・楽しく融和親睦を大いに図ることができた。

## 出雲市中パレード

事務局長 築森寛喜

島根の防衛・防災の要を担う陸上自衛隊出雲駐屯地の開庁62周年記念行事が10月17日、出雲市今市町のくにびき中央通りで記念式典と市中パレードがあり、市民ら約3500人が見守る中、150人の隊員と約50台の車両が行進した。

市中パレードは、平成の大合併を記念して以来11回目。式典に続き、第13音楽隊の軽快なマーチ演奏ではじまり、米子、日本原駐屯地、防府分屯地からも参加。パレードでは軽装甲機動車、偵察警戒車、自走架柱橋や災害復旧器材車両等も走行、上空ではヘリコプターのOH-6DとUH-1Jが観閲飛行、沿道では多くの市民が集まり、国旗を振ったり、シャッターチャンスを見守った。式典終了後、島根県隊友会は出雲市今市町の「武志山荘」において、記念祝賀会を主催し、県知事代理をはじめ各界の方々や隊員、隊友会が終始和やかな雰囲気を出雲駐屯地の開庁記念日を祝った。



▲祝賀会食で祝辞を述べる隊友会長